

令和4年5月吉日

会員各位

集中治療科の日本専門医機構サブスペシャル領域追加について

この度日本専門医機構は、放射線カテーテル治療、脊椎脊髄外科、集中治療科の3領域をサブスペシャル領域として追加すると発表しました。集中治療領域は、日本麻酔科学会としても多くの会員が従事している領域でもあり、日本麻酔科学会理事長声明が5月6日付けで発出されています。

日本麻酔科医会連合では、COVID-19の感染拡大が始まり、社会問題化してから、COVID-19重症患者での集中治療の重要性を訴えてきました。特に、自民党議員連盟「日本の安全な麻酔と周術期医療を考える会」を編成し、河村建夫前議員、富岡 勉前議員、今枝宗一郎の衆議院議員を中心として、賛同する国会議員の他、厚生労働省の担当官の出席の下、会合を重ねて、立法及び行政に対しての活動を行ってまいりました。

・2020年9月16日議員連盟

「新型コロナウイルス感染症に対する日本麻酔科学会と対応と、重症感染患者に必要な集中治療と麻酔科医」

小坂橋俊哉日本麻酔科学会理事長

西田修日本集中治療医学会理事長

升田好樹札幌医科大学集中治療医学教授

・2021年6月8日議員連盟

「新型コロナ感染症に立ち向かう麻酔科医・集中治療医」

山蔭道明日本麻酔科学会理事長

「コロナ重症患者にECMOでの治療に活躍する集中治療医の課題」

西田修日本集中治療医学会理事長

これらの活動が、麻酔科医の集中治療への関与と、集中治療の必要性、重要性の認識を、国会議員および厚生労働省内で深め、今回の集中治療科のサブスペシャル領域追加への一助となったと考えております。

今後も継続して、国政への麻酔関連業務の必要性を訴えていく所存でございますので、ご支援のほどお願いいたします。

一般社団法人 日本麻酔科医会連合
代表理事 武田純三